

足立区議会議長 古性重則 様

足立区議会議員 5番 横田ゆう

文 書 質 問 書

会議規則第60条の2第2項の規定に基づき、次のとおり文書質問書を提出します。

記

テ ー マ 及 び 質 問 項 目

1 足立区総合交通計画について

足立区は2019年11月総合交通計画を策定した。その視点として、公共交通空白地域等への対応、バス計画路線の見直し、多様な交通手段の活用、超高齢化社会に対応した交通サービス、公共交通の利用促進を掲げている。

- ①高齢化が進む中で、自動車免許の自主返納をする高齢者が増え、これまでもまして移動に困難を抱える高齢者が増えてきている。また、CO<sub>2</sub>を削減するためにも自動車から公共交通機関に切り変えていく事が重要となっている。早急にバス路線の新規導入・強化や乗り合いタクシー、デマンド交通の充実を図るべきと思うがどうか。
- ②とりわけ交通空白地域の解消が早急に求められている中で、前計画に盛り込まれていた未実施のルートは早急に実施するべきである。住民の要望が強い計画14ルート新設・はるかぜ（六月二、三丁目）を早急に実施するべきではないか。
- ③交通空白地域であり、住民の高齢化が進行している東伊興四丁目において、計画6ルート新設・路線バス（東伊興四丁目）を早急に実施するべきと思うがどうか。
- ④ルート新設に当たっては、事業者者に区民ニーズが高まっている事を伝えると同時に、購入費補助等の事業所支援を強化するべきと思うがどうか。
- ⑤区は12月補正予算で、コロナ禍で乗客が減り苦境に陥っているバス事業者に対して、コロナ感染予防対策費用30万円を計上したが、引き続き継続した支援を行うべきと思うがどうか。

2 介護従事者処遇改善について

介護事業所は、以前から慢性的な介護職員不足が続いてきたが、コロナ感染拡大が始まってから約2年経ち、介護職員の不足はますます深刻になっている。都内の特別養護老人ホームでは、月に8回の夜勤が続き、日勤帯の職員が不足し、入所者は週に1回しか入浴できない所も出てきている。他の特養施設では、夜勤明けの夜にまた夜勤に入る等、異常な勤務を行っている所もある。ヘルパーは、現在も感染対策のために、利用者の熱を測り、微熱があれば防護服を着用し、ゴム手袋を二重に装着し介護にあたるなど、コロナ禍の下、大きな労量を使いながら介護を行っている。

- ①足立区内の介護従事者の実態を把握することが重要である。アンケート調査（無記名を前提とした）を行うべきと思うがどうか。

5番 横田ゆう

テーマ及び質問項目

- ②区は、「介護従事者永年勤続褒賞」を行っているが、褒賞の対象にならない介護従事者に対して、褒賞手当を支給するべきと思うがどうか。
- ③区はこれまで年2回の「介護のお仕事相談・面接会」を行ってきたが、回数を年4回開催し、介護・福祉の仕事に触れる機会を増やし介護職員への就職を促すべきと思うがどうか。
- ④介護従事者と同様に職員不足の障害者施設・事業所も多くある。「介護のお仕事相談・面接会」の参加事業所に希望する障害者施設・事業者を加えるべきと思うがどうか。
- ⑤区として、「介護の仕事は高齢者の尊厳を実現する仕事、働きがいのある仕事」として介護従事者のイメージアップを図るキャンペーンを行うべきと思うがどうか。